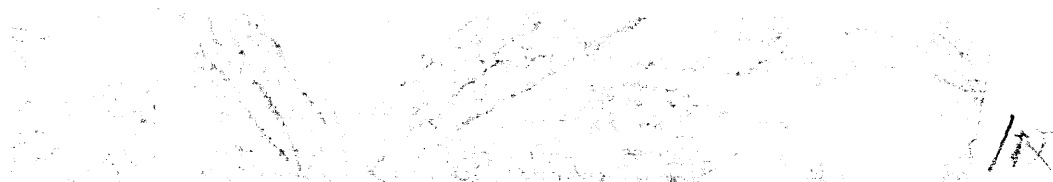


# 釧路市、釧路町農耕地土壤図 (1 / 5 万)

(地力保全基本調査、厚岸地域)

北海道釧路支庁  
北海道立中央農業試験場

(平成13年6月)



本調査報告書は、農水省北海道農業試験場発行の「土壌調査報告書」（第28編、1983、ただし実調査は1971年）を参考にして、地方保全基本調査様式に準じて編集・発行したものです。ただし、面積については、昭和60～61年版の市町村別農業統計に町単位で合致させてあります。

（編集担当）北海道立中央農業試験場  
農業環境部 環境保全科

## — 目 次 —

土壤区一覧表（釧路市、釧路町）	1
各土壤区の代表的断面形態、分析値および解説	
駒 牧 統—駒 牧 区（釧路市）	4
美 濃 統—美 濃 区（釧路市）	5
新 野 統—新 野 区（釧路市、釧路町）	6
桜 田 統—桜 田 区（釧路市）	7
遠 矢 統—遠 矢 区（釧路市、釧路町）	8
市山花 統—市山花区（釧路市）	9
雪 裡 統—雪 裡 区（釧路市、釧路町）	10
縫 別 統—縫 別 区（釧路町）	11
阿歴内 統—阿歴内区（釧路町）	12
尾 幌 統—尾 幌 区（釧路町）	13
高 台 統—高 台 区（釧路町）	14
別 保 統—別 保 区（釧路町）	15
（付表1）生産力可能性分級基準	16
（付表2）土壤分類の一覧	18
（付表3）断面柱状図の記号の説明	20
（付表4）要土地改良、土層改良土壤一覧	21

土壤区分一覧表 (釧路市)

設色	土壤統群	土壤区分名	地図上の記号	簡略分級式	面積(地点No)	腐植層序	礫層及び砂礫層	酸化沈積物	土性		泥炭	グライ層	堆積様式	母材	土壤分類コード		代表地点(No)
									表層	次層					全国土壤統	北海道区分	
	03C	駒牧	K-III	III wn II fase	187	表層多腐植層	なし	なし	壤質	壤質	なし	なし	風積 洪積	非固結火成岩	03C13	2611	67
	12D	美濃	M-II	II tw n	26	表層腐植層	なし	65cm以下	粘質	壤質	なし	なし	水積	非固結水成岩	12D10	7124	99
	13D	新野	C-III	III pw II tfna	200	表層腐植層	なし	30cm以下	強粘質	粘質	なし	なし	水積	非固結水成岩	13D15	7214	120
	13A	桜田	S-II	II tw n	864	表層腐植層	なし	20cm以下	粘質	強粘質	なし	なし	水積	非固結水成岩	13A03	7224	125
	16	遠矢	To-III	III tw II fna	227	全層多腐植層	なし	なし	泥炭	泥炭	全層	全層	集積	ヨシ、スゲ	1601	8111	141
	16	市山花	H-III	III w II tfna	919	全層多腐植層	なし	なし	壤質	泥炭	22cm以下	22cm以下	集積	ヨシ、ハンノキ	1601	8121	142
	16	雪裡	Y-III	III wn II tfa	17	全層多腐植層	なし	なし	泥炭	泥炭	全層	全層	集積	ヒラギ、スゲ、ヒメシダ、ヨシ	1602	8211	146

釧路市 (計) 2440ha

農耕地土壤分類

03C 表層多腐植質黒ボク土  
12D 細粒褐色低地土、斑紋あり  
13A 細粒灰色低地土、灰色系  
13D 細粒灰色低地土、灰褐色系  
16 泥炭土

北海道分類

261 厚層黒色火山性土  
712 暗色表層褐色低地土  
721 灰色低地土  
722 暗色表層灰色低地土  
811 低位泥炭土  
812 無機質表層低位泥炭土  
821 中間泥炭土

土壤区分一覧表 (釧路町)

設色	土壤統群	土壤区名	地図上の記号	簡略分級式	面積(地点%)	腐植層序	礫層及び砂礫層	酸化沈積物	土性		泥炭	グライ層	堆積様式	母材	土壤分類コード		代表地点(No.)
									表層	次層					全国土壤統	北海道分類	
	03D	縫別	N-III	III n II tw	10	表層腐植層	なし	なし	壤質	強粘質	なし	なし	風積水	非固結火成岩	03D30	2361	29
	03D	阿歴内	A-III	III n II twfafa	412	表層多腐植層	なし	なし	粘質	壤質	なし	なし	風積	非固結火成岩	03D28	2411	30
	07A	尾幌	O-III	III n II tpwfafa	73	表層腐植層	なし	42cm以下	強粘質	粘質	なし	なし	風積	非固結火成岩	07A02	4131	81
	13D	新野	C-III	III pw II tfna	170	表層腐植層	なし	30cm以下	強粘質	粘質	なし	なし	水積	非固結水成岩	13D15	7214	120
	13H	高台	T-III	III na II twf	68	表層腐植層	18~62cm 砂質	18~48cm	壤質	砂質	62cm以下	48cm以下	水積	非固結水成岩	13H29	7244	137
	14A	別保	B-III	III pwa II tfn	27	表層腐植層	なし	なし	強粘質	強粘質	なし	20cm以下	水積	非固結水成岩	14A01	7314	140
	16	遠矢	To-III	III tw II tna	313	全層多腐植層	なし	なし	泥炭	泥炭	全層	全層	集積	ヨシ、スゲ	1601	8111	141
	16	雪裡	Y-III	III wn II tfa	17	全層多腐植層	なし	なし	泥炭	泥炭	全層	全層	集積	ヒラギシスゲ ヒメシダ ヨシ	1602	8211	146

釧路町 (計) 1090ha

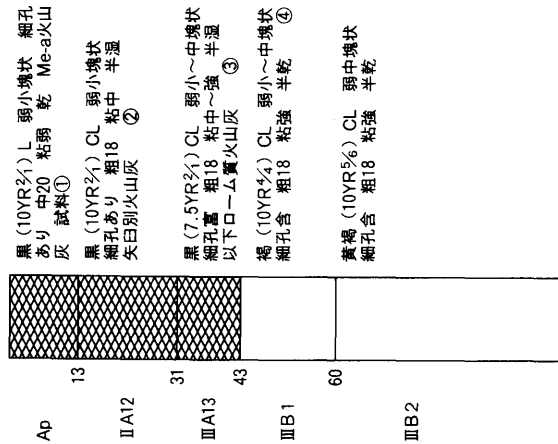
農耕地土壤分類

- 03D 表層腐植質黒ボク土
- 07A 細粒灰色台地土
- 13D 細粒灰色低地土、灰褐系
- 13H 灰色低地土、下層有機質
- 14A 細粒強グライ土
- 16 泥炭土

北海道分類

- 236 下層低地軽しよ褐色火山性土
- 241 軽しよ黒色火山性土
- 413 火山灰表層疑似グライ土
- 721 灰色低地土
- 724 下層グライ灰色低地土
- 731 グライ低地土
- 811 低位泥炭土
- 821 中間泥炭土

67 土壤区土層断面 (鉦路市駒牧、牧草)



(特徴)

標高20~60m  
傾斜4~6°の低位の緩波状性台地

図 幅 名 鉦 路

市 町 村 名 鉦 路 市

北海道土壌統名 駒牧 (K)

北海道第2次案 厚層黒色火山性土 (2611)

分 布 面 積 187ha

全国土壌統名 野々村 (03C13)

土壌群・統群 表層多腐植質黒ボク土

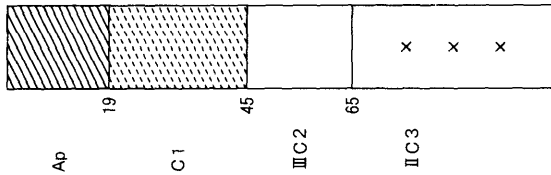
簡略分級式 III wn II fase

示性分級式 (細)

土壌生産力	土壌の層深さ	土壌の厚さ	土壌の粘着性	土壌の乾燥性	土壌の透水性	土壌の自保力	土壌の固層性	土壌の養分交換性	土壌の微酸害	土壌の物理的害	土壌の生物的害	土壌の災害	土壌の増進	土壌の自保力	土壌の傾斜	土壌の侵蝕	土壌の耐水性
優	良	中	弱	強	中	弱	中	強	中	弱	強	中	弱	中	強	中	弱
III	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn	wn
II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

層位	採取部位 cm	層位名	腐蝕	水層	腐蝕	全窒素 %	全炭素 %	C/N 比	農学会法				国際法粒径組成				真比重	pH	Y <sub>1</sub>	りん酸吸収係数	塩基置換容量 me	全塩基 me	置換性塩基 me/100g			容積重 g
									粘土 %	砂 %	シルト %	粘土 %	粗砂 %	細砂 %	シルト %	粘土 %							Ca	Mg	Na	
1	0~13	Ap	3.9	11.3	0.49	6.57	13	31.6	L	1.9	43.9	41.1	13.1	L	2.3	6.9	1.286	4.84	20	3.29	1.09	0.35	0.10	3.2	78	
2	13~31	II A12	9.4	22.5	0.71	13.08	18	42.4	CL	3.3	31.3	54.4	11.0	SiL	2.2	9.1	2.778	2.45	5	1.16	0.58	0.44	0.26	2.9	48	
3	31~43	III A13	11.3	19.0	0.64	11.05	17	39.6	CL	7.2	34.2	52.8	5.8	SiL	2.5	3.6	2.904	1.84	4	0.60	0.60	0.55	0.10	1.6	39	
4	43~60	III B1	8.3	4.7	0.22	2.73	13	13.7	SL	11.2	56.2	23.2	9.4	SL	2.6	0.4	2.667	2.12	9	1.15	0.58	0.29	0.10	1.2	57	
5	60~																									

99 土壤区土層断面 (鉚路市桜田、草地)



図幅名 鉚路

市町村名 鉚路市

北海道土壤統名 美濃 (M)

北海道第2次案 暗色表層褐色低地土(細粒) (7124)

分布面積 26ha

全国土壤統名 常万 (12D10)

土壤群、統群 細粒褐色低地土、斑紋あり

簡略分級式 II twm

(特徴)  
砂岩、頁岩風化物を母材とした沖積土  
透水性良好  
65cm以下地下水の影響 鉄斑あり

示性分級式 (畑)

土壌生成力	中等	td
土壌厚さ	深さ	gp
土壌の層	深層	ii
土壌の粘着性	粘着性	ii
土壌の乾燥性	乾燥性	ii
土壌の風乾性	風乾性	ii
土壌の保肥力	保肥力	ii
土壌の塩基状態	塩基性	ii
土壌の固着性	固着性	ii
土壌の置換性	置換性	ii
土壌の加肥性	加肥性	ii
土壌の微量元素	微量元素	ii
土壌の物理的障害	物理的障害	ii
土壌の化学的障害	化学的障害	ii
土壌の浸食性	浸食性	ii
土壌の耐水性	耐水性	ii
土壌の耐風性	耐風性	ii
土壌の耐酸性	耐酸性	ii
土壌の耐塩性	耐塩性	ii
土壌の耐毒性	耐毒性	ii
土壌の耐腐蝕性	耐腐蝕性	ii
土壌の耐侵襲性	耐侵襲性	ii

簡略分級式 II twm



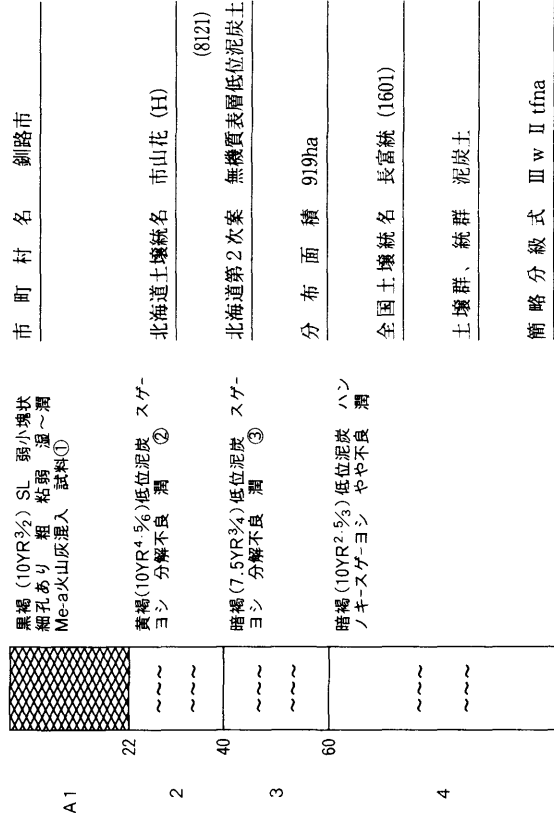






〈特徴〉

142 土壌区土層断面 (釧路市山花、草地)



示性分級式 (畑)

土表有表耕	土の層の厚さ	土の粘着性	土の乾燥性	土の保水性	土の自然肥力	土の固層の厚さ	土の養分	土の置換性	土の有機物	土の物理的障害	土の災害	土の増設	土の傾斜	土の人為的傾斜	土の侵蝕	土の耐水性
II	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

簡略分級式 III w II tfna

層位	採取部位 cm	層位名	腐植 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N 比	農学会法			国際法粒径組成			真比重	三相分布			孔隙率 %	pH		りん酸吸収係数	塩基飽和度 %	置換性塩基 me/100g			有効態りん酸 mg/g	容積重 g			
							粘土 %	砂 %	粗砂 %	シルト %	粘土 %	細砂 %		粗砂 %	液相 %	固相 %		気相 %	Ca			Mg	K	Na					
1	0~22	1	5.0	18.4	10.70	13	36.5	L	3.4	35.2	38.5	22.9	2.0	22.3	67.7	10.0	77.7	5.7	5.0	1.6	2.023	55	17.73	0.74	0.16	0.26	2.4	50	
2	22~40	2	9.7	69.2	2.41	17		泥炭					1.7					4.6	4.2	16.0	2.558	37	18.65	3.50	0.17	0.41	0.9		
3	40~60	3	9.2	63.4	2.32	16		泥炭					1.9					4.7	4.3	20.0	2.240	39	20.86	9.27	0.11	0.55	0.7		
4																													
5																													















生産力可能性分級基準

(付表1)

等級	基準												備考
	等級												
	I			II			III			IV			
第I等級	正当な取量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的に殆どあるいは全く制限因子あるいは阻害因子がなく、また土壌悪化の危険性もない良好な耕地とみなされる土地												
第II等級	正当な取量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的にみて若干の制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまたはまた土壌悪化の危険性が多少存在する土地												
第III等級	正当な取量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的にみてかなり大きな制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまたはまた土壌悪化の危険性がかなり大きい土地												
第IV等級	正当な取量をあげ、また正当な土壌管理を行う上に、土壌的にみてきわめて大きな制限因子あるいは阻害因子があり、あるいはまたはまた土壌悪化の危険性がきわめて大きく耕地として利用するには、きわめて困難と認められる土地												
基準項目	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	水田	畑	備考
表(作)土の厚さ	25~15cm	25cm以上	15cm以下	25~15cm	20~15cm	50~15cm	15cm以下	50~25cm	15cm以下	25cm以下	15cm以下	25cm以下	有効土層の深さがIVの場合はIVとする
有効土層の深さ	100~50cm	100cm以上	50~25cm	100~50cm	20~15cm	50~15cm	50~25cm	50~25cm	15cm以下	20~15cm	15cm以下	25cm以下	2) 全層は層の土層断面中の面積割合を示す 3) 水田の10~50%普通作物の5~50%、桑、茶の20%以上、果樹の10%以上については層の大きさ、風化の程度、含量の多少を考慮して等級を決定する
表(作)土の礫含量	20%以下	10%以下	20%以下	10~20%	10~50%	10~20%	20%以上	20%以上	20%以上	50%以上	20%以上	50%以上	
耕耘の難易	耕起、碎土が容易である	耕起、碎土が容易である	耕起、碎土が容易である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	耕起、碎土が困難である	表(作)土の土性、粘着性および風乾土の硬さから判定する
灌水透水性	小~中	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	作土下50cmの土性、ち密度から判定する
礫化還元性	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	還元水田 還元畑	作土の易分解性有機物含量、遊離酸化鉄含量およびグライ化度から判定する
土地の乾湿	過湿または過乾のおそれがないか、又は少ない	過湿のおそれがある	過湿のおそれがある	過湿のおそれがある	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	過湿のおそれが多い	透水性、保水性、湿度 (土壌の年間にわたる支配的水分状態) から判定する
自然肥沃度	高	中	中	中	低	低	低	低	低	低	低	低	保肥力、固定力および土層の塩基状態から判定する
養分の豊否	多	中	中	中	少	少	少	少	少	少	少	少	陽性石灰、苦土、加里含量、有効窒素、有機質含量、遊離酸化鉄含量、遊離酸化鉄含量および腐植率から、当該地区において特に問題となる考えられる要素に重点を置いて判定する
障害	有害物質および物理的障害なし	障害程度の小さい有害物質あり、または除去や物理的障害	障害程度の小さい有害物質あり、または除去や物理的障害	障害程度の小さい有害物質あり、または除去や物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	障害程度中位の有害物質あり、または除去きわめて困難な物理的障害	1) 有害物質とは有機化合物、重金属、塩類または有害物質による毒害をいふ 2) 物理的障害とは地表面50cm以内存在する基岩層から密着する土質の物理的障害をいふ
災害	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が殆どない	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性が多少ある	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性がかなり大きい	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性がかなり大きい	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性がかなり大きい	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性がかなり大きい	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性がかなり大きい	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性がかなり大きい	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性がかなり大きい	増冠水、地すべり等の災害を受ける危険性がかなり大きい	増冠水および地すべりの危険度から判定する
傾斜	3'以下	8'以下	15'以下	3~8'	8~15'	8~15'	8~15'	8~15'	8~15'	15'以上	25'以上	25'以上	1) 分級は自然傾斜を主とし、傾斜の方向、人為傾斜を入れて総合的に行う 2) 果樹の8~25'については、樹種、傾斜の方向、微気象的条件を考慮して等級を決定する
侵蝕	侵蝕のおそれがないか、またはきわめて少ない	侵蝕のおそれがないか、またはきわめて少ない	侵蝕のおそれがないか、またはきわめて少ない	侵蝕のおそれがある	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	侵蝕のおそれが多い	分級は侵蝕度を主とし、耐水蝕性、耐風蝕性を考慮して行う

基準項目	要因項目		要因		強		備考
	1	2	3	4			
養水養水性	SC.L.C.S/C.HC	SCL.C.L.S/C.L	SL.FSL.L.S/L.S.L.S				
	作土下50cmの土性	微	細	中粗			
養水養水性	作土下50cmの最高密度	硬度計の読み25以上	硬度計の読み24~11	中	硬度計の読み10以下		
	作土の易分解性有機物含量	風乾生成量及び高温生成量が10以下	風乾生成量が10~20及び高温生成量が10~15	中	風乾生成量が20以上及び高温生成量が15以上		乾土100g当たりのNH <sub>4</sub> -N生成量(mg)
養水養水性	作土の遊離酸化鉄含量	1.5以上	1.5~0.8	中	0.8以下		乾土%
	グライ化度	50cm以内にグライ層のないもの	50cm以内より下部にグライ層のあるもの	中	全層グライ、作土直下からグライ層のあるもの		1) 作土グライ、または作土直下のみグライは要因強度を1とする。 2) 泥炭、黒泥層はグライ層に準じて取扱う。 3) 要因強度が1でも作付中の地下水水位が高く排水不良の場合は強度を2に下げる。
自然肥度	保肥力	CEC20以上	CEC20~6	中	CEC6以下		作(表)土の塩基置換容量(me)から判定する
	固定力	構層吸収係数700以下	構層吸収係数700~1500	少	構層吸収係数1500~2000		構層吸収係数2000以上
養水養水性	土層の塩基状態	pH(H <sub>2</sub> O)5.5以上で置換性石灰飽和度50%以上	pH(H <sub>2</sub> O)5.0~5.5で置換性石灰飽和度50~30%	中	pH(H <sub>2</sub> O)5.0以下で置換性石灰飽和度30%以下		
	置換性石灰含量	20mg以上(乾土100g当り)または置換性石灰飽和度50%以上	200~100mg以上(乾土100g当り)または置換性石灰飽和度50~30%	中	100mg以下(乾土100g当り)または置換性石灰飽和度30%以下		
養水養水性	置換性苦土含量	25mg以上	25~10mg	中	10mg以下		乾土100g当たり
	置換性加里含量	15mg以下	15~8mg	中	8mg以下		乾土100g当たり
養水養水性	有効態磷含量	10mg以上	10~2mg	中	2mg以下		乾土100g当たり
	有効態窒素含量	風乾生成量20mg以上	風乾生成量20~10mg	中	風乾生成量10mg以下		乾土100g当たり
養水養水性	有効態柱状含量	15mg以上	15~5mg	中	2mg以下		乾土100g当たり
	微量要素含量	欠乏症状が全く、あるいは殆どない	欠乏症状がかなり発生する	中	欠乏症状が甚だしく発生する		
養水養水性	pH(H <sub>2</sub> O)6以上またはY13以下	pH(H <sub>2</sub> O)6~5またはY13	pH(H <sub>2</sub> O)5~4.5またはY16~15	中	pH(H <sub>2</sub> O)4.5以下またはY15以上		pH(H <sub>2</sub> O)とY1の測定結果が一致しないときは要因強度が強くなる方をとる。

(付表2) 土壌分類の一覧

農耕地土壌分類・第2次案(昭和58年、農技研土壌第3科)

農水省、学会等で使われている事実上の全国共通の分類法で、造成土を除くと16土壌群56土壌統群320土壌統よりなる。

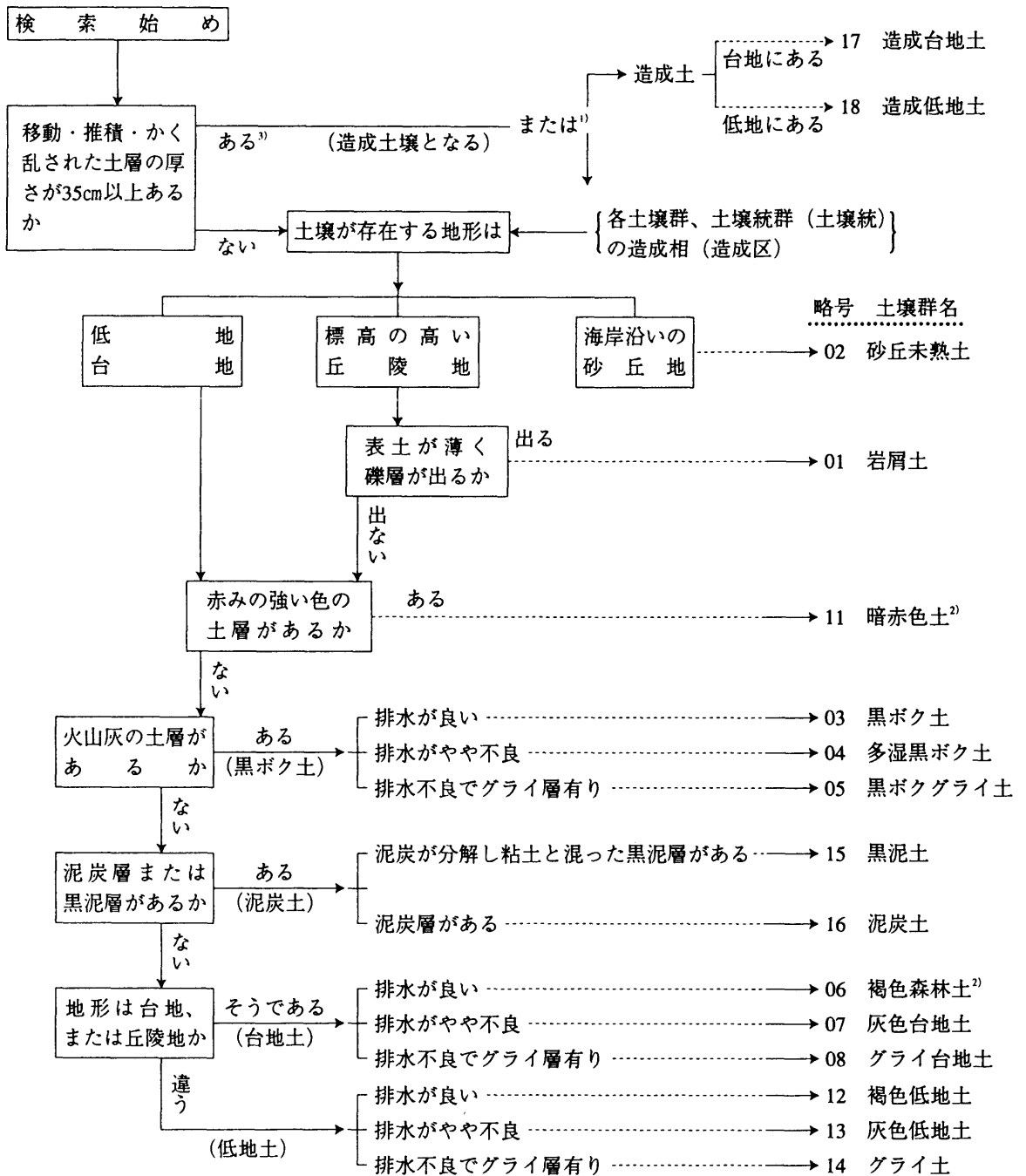
土壌群、土壌統群一覧

01	岩 屑 土	L	B 中粗粒黄色土	Y-mc
02	砂 丘 未 熟 土	RS	C 礫質黄色土	Y-g
03	黒 ボ ク 土	A	D 細粒黄色土、斑紋あり	Y-wf
	A 厚層多腐植質黒ボク土	A-tr	E 中粗粒黄色土、斑紋あり	Y-wmc
	B 厚層腐植質黒ボク土	A-th	F 礫質黄色土、斑紋あり	Y-wg
	C 表層多腐植質黒ボク土	A-r	11 暗 赤 色 土	DR
	D 表層腐植質黒ボク土	A-h	A 細粒暗赤色土	DR-f
	E 淡色黒ボク土	A-l	B 礫質暗赤色土	DR-g
04	多 湿 黒 ボ ク 土	AW	12 褐 色 低 地 土	BL
	A 厚層多腐植質多湿黒ボク土	AW-tr	A 細粒褐色低地土、斑紋なし	BL-f
	B 厚層腐植質多湿黒ボク土	AW-th	B 中粗粒褐色低地土、斑紋なし	BL-mc
	C 表層多腐植質多湿黒ボク土	AW-r	C 礫質褐色低地土、斑紋なし	BL-g
	D 表層腐植質多湿黒ボク土	AW-h	D 細粒褐色低地土、斑紋あり	BL-wf
	E 淡色多湿黒ボク土	AW-l	E 中粗粒褐色低地土、斑紋あり	BL-wmc
05	黒ボクグライ土	AG	F 礫質褐色低地土、斑紋あり	BL-wg
	A 多腐植質黒ボクグライ土	AG-r	13 灰 色 低 地 土	GrL
	B 腐植質黒ボクグライ土	AG-h	A 細粒灰色低地土、灰色系	GrL-f
	C 淡色黒ボクグライ土	AG-l	B 中粗粒灰色低地土、灰色系	GrL-mc
06	褐 色 森 林 土	B	C 礫質灰色低地土、灰色系	GrL-g
	A 細粒褐色森林土	B-f	D 細粒灰色低地土、灰褐色系	GrL-bf
	B 中粗粒褐色森林土	B-mc	E 中粗粒灰色低地土、灰褐色系	GrL-bmc
	C 礫質褐色森林土	B-g	F 礫質灰色低地土、灰褐色系	GrL-bg
07	灰 色 台 地 土	GrU	G 灰色低地土、下層黒ボク	GrL-a
	A 細粒灰色台地土	GrU-f	H 灰色低地土、下層有機質	GrL-o
	B 中粗粒灰色台地土	GrU-mc	I 灰色低地土、斑紋なし	GrL-d
	C 礫質灰色台地土	GrU-g	14 グ ラ イ 土	G
	D 灰色台地土、石灰質	GrU-ca	A 細粒強グライ土	G-sf
08	グ ラ イ 台 地 土	GU	B 中粗粒強グライ土	G-smc
	A 細粒グライ台地土	GU-f	C 礫質強グライ土	G-sg
	B 中粗粒グライ台地土	GU-mc	D 細粒グライ土	G-f
	C 礫質グライ台地土	GU-g	E 中粗粒グライ土	G-mc
09	赤 色 土	R	F グライ土、下層黒ボク	G-a
	A 細粒赤色土	R-f	G グライ土、下層有機質	G-o
	B 中粗粒赤色土	R-mc	15 黒 泥 土	M
	C 礫質赤色土	R-g	16 泥 炭 土	P
10	黄 色 土	Y	17 造 成 台 地 土	MU
	A 細粒黄色土	Y-f	18 造 成 低 地 土	ML

(09、10は北海道には存在しないとされている)

〈土壌の種類を探しあてるための検索表〉

厳密な意味での検索表ではないが、土壌分類、つまり土壌の種類分けの流れを説明するために大まかなものを以下に示した。



注1)二通りに区分けするための定義は省略した。

2) 09黄色土、10赤色土は北海道に存在していないため省略した。

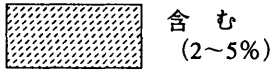
3) 既存の分類にほぼあてはまれば必ずしも造成土壌とする必要はない。

(付表3)

〈断面柱状図の記号の説明〉

以下のうち、腐植は重量割合、その他は断面中の面積割合による。

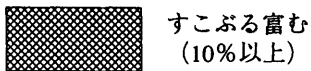
腐植 (ふしょく)



含む  
(2~5%)



富む  
(5~10%)



すこぶる富む  
(10%以上)

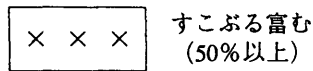
はん紋…雲状、膜状、糸根状、状状



含む  
(2~20%)

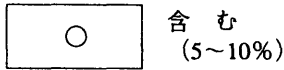


富む  
(20~50%)



すこぶる富む  
(50%以上)

礫 (レキ)



含む  
(5~10%)



富む  
(10~20%)



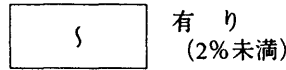
礫層  
(20%以上)



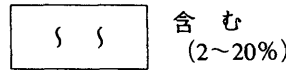
砂礫層

- 円レキ (丸いレキ)
- 半角レキ (やや丸いレキ)
- △ 角レキ (とがったレキ)
- ◻ 火山軽石 (パーミス)

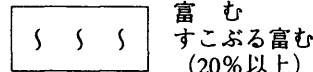
はん紋…管状、脈状



有り  
(2%未満)

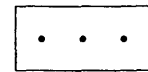


含む  
(2~20%)



富む  
すこぶる富む  
(20%以上)

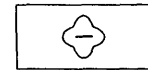
結核状、点状



グライ層



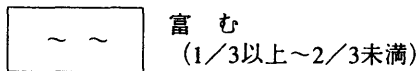
グライ斑



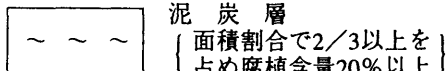
泥炭 (でいたん)



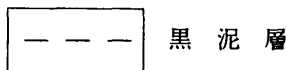
含む  
(1/3未満)



富む  
(1/3以上~2/3未満)

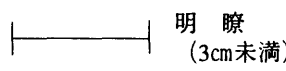


泥炭層  
{ 面積割合で2/3以上を }  
{ 占め腐植含量20%以上 }

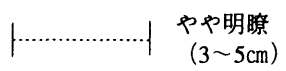


黒泥層

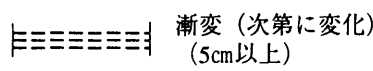
土層の境界



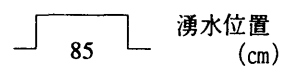
明瞭  
(3cm未満)



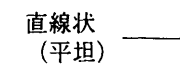
やや明瞭  
(3~5cm)



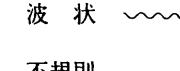
漸変 (次第に変化)  
(5cm以上)



湧水位置  
(cm)



直線状  
(平坦)



波状

不規則



盤層

(付表4)

土地改良、土層改良を必要とするか、あるいは考慮の対象となり得る土壤

(水田)

目的	対策	基本的に改良が必要あるいは望ましいと思われる土壤
排水改良	暗渠排水 心土破碎	地下水位が高く、排水不良なもの (04、05、07、08、13、14、15、16)
		地下水位は低いが、表土が粘質で表面排水が不良になり易いもの (06A、11A、12A・D)
地耐力増強 耕土補給	鉍質土客土	泥炭や黒泥が表層にあるもの (15、16)
耕土補給 土性改良	粘土客土	表土の土性が砂質のもの (02、及び03・04・05のうち粗粒火山灰のもの)
	砂・火山灰客土	表土の土性が強粘質のもの (06A、07A、08A、11A、12A・D、13A・D、14A・D)
除礫 耕土補給	除客 礫土	表土に礫が多量に混入するもの、礫層が浅いもの (06C、07C、08C、11B、12C・F、13C・F、14C)

(畑地・草地・樹園地)

目的	対策	基本的に改良が必要あるいは望ましいと思われる土壤
排水改良	暗渠排水 心土破碎	排水不良なもの、表面排水が不良になり易いもの (04、05、06A、07、08、11A、12A・D、13、14、15、16)
地耐力増強 耕土補給	鉍質土客土	泥炭や黒泥が表層にあるもの (15、16)
耕土補給 土性改良	粘土客土	表土の土性が砂質のもの (02、及び03・04・05のうち粗粒火山灰のもの)
	砂・火山灰客土	表土の土性が強粘質のもの (06A、07A、08A、11A、12A・D、13A・D、14A・D)
除礫 耕土補給	除客 礫土	表土に礫が多量に混入するもの、礫層が浅いもの (06C、07C、08C、11B、12C・F、13C・F、14C)
土層改良	混層耕 (反転客土耕) (改良反転客土耕)	理化学性が不良な火山灰層と良好な埋没火山灰層(又は沖積層、 洪積層)とを混合あるいは交換して活用する耕起法。 (03・04・05のうち土層の状態が目的になっているもの)
	心土肥培耕	心土の化学性が不良で、改良資材の投入が可能なもの (03・04・05の大部分)
	心土破碎 硬盤破碎	表土の下の土層が硬い(堅密)か、あるいは硬くなり易いもの (02・03の一部と15・16の一部を除く大部分の土壤)